



▲効率の良いヒートポンプチャラー。



▲こちらがエコキュートだ。故障が少ないこともありがたい。

補助事業を活用し ヒートポンプを導入

「公立共済やすらぎの宿」として、公立学校共済組合が全国展開している宿泊施設の一つである、通称『高知会館』。快適な空間を提供しつつ、省エネと環境負荷の低減対策に力を入れている。2009年、燃料費の高騰もあり、老朽化した灯油式の空調を電力使用の『ヒートポンプチャラー』に、給湯もヒートポンプを利用した『エコキュート』に変更した。「四国電力さんにエネルギーの有効活用について相談したところ、エネ

ルギー効率の高い2つを紹介していただきました。併せて経済産業省の補助事業に採択され、イニシャルコストも大幅に削減できました。これは大きかったです」とは支配人の浜脇氏。結果、年間3600万円だった光熱費を3分の1以上カット。灯油式に比べて危険性と故障が少なく維持管理がしやすいので、人件費の削減もできた。「エコキュートは夜間電力を使用するために電気料金が安いことが大きなメリットです」。安全性を得て、コストカットも実現！

※エネルギー使用合理化事業者支援事業。

設備更新時期は省エネのビッグチャンス。 想定以上のエネルギーの削減に成功！

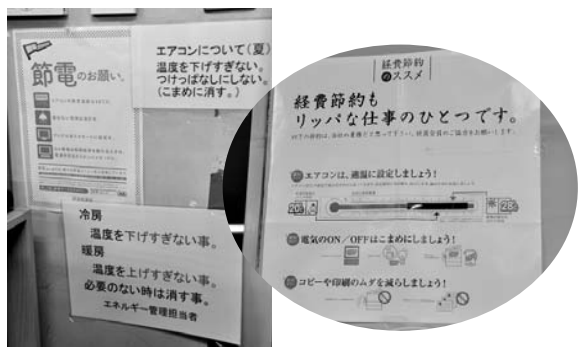
ハード面だけでなく 館内でも節電を徹底

館内においてもデマンド監視装置を設置して電力の削減に取り組む。まずはロビーやレストランの照明。可能な箇所はLEDに更新。客室においても空調や冷蔵庫の運転はお客様自身で行ってもらおう。さらに自動販売機の照明も夜9〜朝5時までの間、自動で消灯されるようプログラムされている。

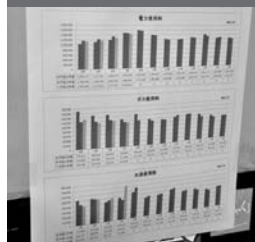
また、従業員にも毎月の光熱費が分かるよう、グラフ化して貼りだしている。「私共は公共施設ですから、安心・安全な施設としてお客様にご迷惑をかけるわけにはいきません。お客様に見えない裏方の部分で、職員一同が省エネを意識して行動することで、まだまだコストカットはできると思います」と前出の浜脇氏。バックヤードにある省エネの貼り紙の多さと充実した内容からも、その意識の高さが見てとれる。



▲ロビーの照明の一部もLED。
併せて間引きも！



▲従業員への節電の貼り紙がこちら。



▲光熱費の
「見える化」。

取り組んでみて

支配人 浜脇 正志さん

なんといっても補助事業に採択されたことが大きかったですね。省エネ効果も想定以上。電気料金もあまりアップしませんでした。燃料費の高騰などもあり、全てがうまくいきました。実行のタイミングを逃さなかったことが結果に繋がったような気がします。



公立学校共済組合 高知宿泊所

高知県高知市本町 5-6-42

☎ 088-823-7123

<http://kochikaikan.jp/>

業種：ホテル・旅館



▲こういった高所からLEDを導入。色目の違いもポイント。

ホテルは季節などによって集客数が大幅に違い、いつも繁忙期と同じように空調や照明を使用するのはもったいない。そこで極力お客様と同じフロアに集め、使用しないエリアの空調は停止することを心がけている。「集客は季節や曜日などによって異なります。大事なのは状況に応じて電気やガスが「いつ」、「どこで」、「どれだけ」利用されているのか把握して、使いすぎや無駄がないか見極めることです」。

稼働率によって 不要な空調をカット

一方、サービス業では、光の質を落とさないことも重要だ。「食堂では照明の色が料理の見え方に大きく左右します。いくつか試してみても電球色が一番料理がおいしそうに見えるんです」と、利用シーンによって色を変える工夫も行っている。

高所で消費電力の 多い箇所からLED化

まずは、高い省エネ性能に加えて、長寿命というLEDの特色を活かせる照明から徐々に交換開始。「最も効果的なのは、消費電力が多いハロゲン電球。次に取替に時間と費用がかかる高所部の照明」と前田氏。特に、スポーツ施設を併設するトレストタ白山のアーリーナの天井照明は、消費電力も非常に多く交換時は足場を組むため、交換後の効果は絶大。さらに必要箇所と更新時期を見極め、徐々に交換。一度にすべて交換せず、まだ使用できる電球を保管し、無駄なく再利用することもポイントだ。

効果的な箇所にLEDを導入！ コンサル会社の活用で、先進的な省エネも実施。

コンサル会社の協力で 大幅なコストカット！

「自分たちで行う節電にも限界があったので、省エネ専門のコンサルティング会社と契約しています」。しかし、数ある業者の中から一つを選ぶのは大変では？という質問に、「重要なのは複数の会社と接触して比較すること、実際の導入例を知ることですね」と前田氏。その会社の過去の実績を見ることが、どれだけの効果があがっているのかを元に検討するそう。実行したものの一つが水道対策。計測器を要所に設置して、地点毎の水の使用量を分析。これを基に浴室や厨房などの使用場所に応じて最も効率が良いような水道機器の改良を行った。例えば、厨房の蛇口にタイマーを設置してお湯張り時のロスを少なくすることやセンサーを設置して食器を洗う時だけ水がでるようにした。この取り組みによって月額70万円程度の水道料金の削減に成功！コンサル会社と最新のシステムを導入し、実際に結果を出した実践例だ。



▲業者の選定が重要。
納得できるまで打ち合わせを重ねた。

取り組んでみて

総務部 前田 隆史さん

基本概念を捨てること。これが一番ですね。そして“見える化”することで、改善点が見えてきます。省エネを考えればキリがないですが、継続することが大切。売上を伸ばすこともコストをカットすることも同じ。これも忘れちゃいけません(笑)。



喜代美山荘 花樹海

香川県高松市西宝町 3-5-10 ☎ 087-861-5580
<http://www.hanajukai.jp/>
業種：ホテル・旅館

トレストタ白山

香川県木田郡三木町下高岡 972-30
☎ 087-898-8881 <http://www.tresta.jp/>
業種：ホテル・旅館